



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)中区相生町1丁目計画	階数	地上9F
建設地	横浜市中区相生町一丁目20番、21番	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域、市街化区域	平均居住人員	40 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院集合住宅、工場	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2025年1月 予定	評価の実施日	2023年9月7日
敷地面積	690 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社 南関東流通一級建築士事務所 平野 晃
建築面積	477 m ²	確認日	2023年9月7日
延床面積	3,278 m ²	確認者	大和ハウス工業株式会社 南関東流通一級建築士事務所 平野 晃

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100%
② 建築物の取組み: 96%
③ 上記+②以外の: 96%
④ 上記+: 96%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 3.1
Q2 サービス性能: 2.9
Q3 室外環境(敷地内): 2.7
LR1 エネルギー: 3.3
LR2 資源・マテリアル: 2.9
LR3 敷地外環境: 2.8

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

音環境: 3.0, 温熱環境: 2.8, 光・視環境: 3.1, 空気質環境: 3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

機能性: 2.5, 耐用性: 3.0, 対応性: 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

生物環境: 2.0, まちなみ: 3.0, 地域性: 3.0

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.3

建物外皮の: 3.2, 自然エネ: 3.0, 設備システ: 3.7, 効率的: 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

水資源: 3.0, 非再生材料の: 2.8, 汚染物質: 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.8

地球温暖化: 3.1, 地域環境: 2.3, 周辺環境: 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	環境に配慮した資源を使い、安全で快適に過ごせる建物を作ろうとしている。	その他 特になし
Q1 室内環境	居室面積に対して十分な大きさの窓を設置し、積極的な屋光利用がされている。	Q2 サービス性能 建築物に対して十分な耐用年数を持つ空調・給排水配管がなされている。
Q3 室外環境(敷地内)		Q3 室外環境(敷地内) できる限り緑地を設けている。
LR1 エネルギー	設備システムの効率化に配慮している。	LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上げ材が容易に分別可能。
		LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率=97%

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■ LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい



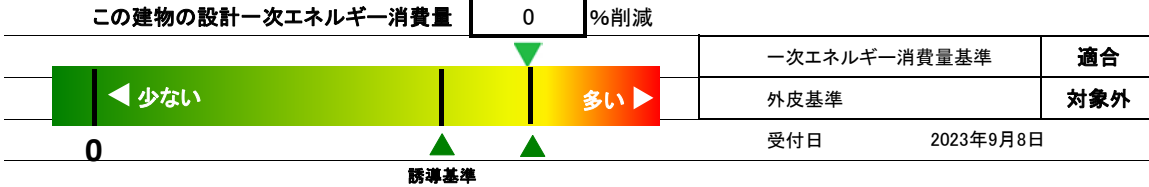
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)中区相生町1丁目計画

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 2

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①非住宅 BPI対象外 住宅 適合している

③非住宅BEI=1.00 住宅BEI=0.88

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 3

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑪F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑰空調・給排水配管材料(水道配水用ポリエチレン管・硬質塩化ビニルライニング鋼管・硬質ポリ塩化ビニル管)

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 3

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入

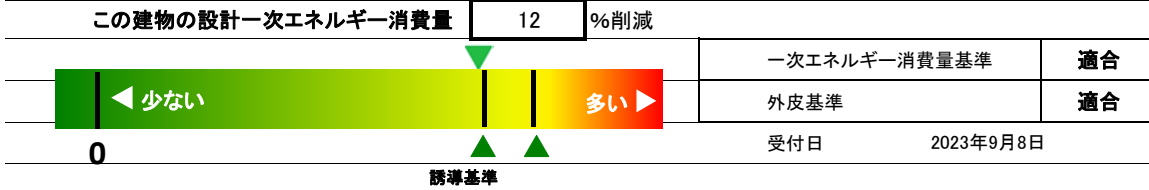


4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。 建物名称 (仮称)中区相生町1丁目計画

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 3

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①非住宅 BPI対象外 住宅 適合している

③非住宅BEI=1.00 住宅BEI=0.88

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 3

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑰空調・給排水配管材料(水道配水用ポリエチレン管・硬質塩化ビニルライニング鋼管・硬質ポリ塩化ビニル管)

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 3

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)
—	
エネルギーマネジメントシステム導入	
— — —	



CASBEE横浜2022年版v.1.1
(仮称)中区相生町1丁目計画

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.1

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質					-		-			2.9
Q1 室内環境					0.39					3.1
1 音環境				3.0	0.15	3.0	1.00			3.0
1.1 騒音				3.0	0.47	3.0	0.48			-
1.2 遮音				3.0	0.47	3.0	0.48			-
1		開口部遮音性能		3.0	0.86	3.0	0.30			-
2		界壁遮音性能		3.0	0.14	3.0	0.30			-
3		界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20			-
4		界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20			-
1.3 吸音				3.0	0.05	3.0	0.04			-
2 温熱環境				2.6	0.35	3.0	1.00			2.8
2.1 室温制御				3.0	0.50	3.0	0.50			-
1		室温	快適・働きやすさ	3.0	0.56	3.0	0.61			-
2		外皮性能	快適・働きやすさ 健康・安心	3.0	0.34	3.0	0.39			-
3		ゾーン別制御性	快適・働きやすさ	3.0	0.09	-	-			-
2.2 湿度制御				1.0	0.20	3.0	0.20			-
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	0.30			-
3 光・視環境				2.8	0.25	3.3	1.00			3.1
3.1 昼光利用				2.4	0.30	3.0	0.30			-
1		昼光率	快適・働きやすさ	2.0	0.60	4.0	0.52			-
2		方位別開口	快適・働きやすさ	-	-	1.0	0.24			-
3		昼光利用設備	快適・働きやすさ	3.0	0.40	3.0	0.24			-
3.2 グレア対策				3.0	0.30	4.0	0.30			-
1		昼光制御	快適・働きやすさ	3.0	1.00	4.0	1.00			-
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	0.15			-
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	0.25			-
4 空気環境				3.6	0.25	3.8	1.00			3.7
4.1 発生源対策				4.0	0.57	4.0	0.63			-
1		化学汚染物質	快適・働きやすさ	4.0	1.00	4.0	1.00			-
4.2 換気				3.0	0.37	3.6	0.38			-
1		換気量	快適・働きやすさ	3.0	0.50	3.0	0.33			-
2		自然換気性能	快適・働きやすさ	-	-	5.0	0.33			-
3		取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ	3.0	0.50	3.0	0.33			-
4.3 運用管理				5.0	0.05	-	-			-
1		CO ₂ の監視	快適・働きやすさ	-	-	-	-			-
2		喫煙の制御	快適・働きやすさ	5.0	1.00	-	-			-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-			2.9
1 機能性				2.4	0.40	2.6	1.00			2.5
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60			-
1		広さ・収納性	快適・働きやすさ	-	-	-	-			-
2		高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ	-	-	3.0	1.00			-
3		バリアフリー計画	快適・働きやすさ	3.0	1.00	-	-			-
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.0	0.40			-
1		広さ感・景観	快適・働きやすさ	-	-	3.0	0.50			-
2		リフレッシュスペース	快適・働きやすさ	-	-	-	-			-
3		内装計画	快適・働きやすさ	1.0	1.00	1.0	0.50			-
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-			-
1		維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ	3.0	0.50	-	-			-
2		維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ	3.0	0.50	-	-			-
2 耐用性・信頼性				3.0	0.30	-	-			3.0
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-			-
1		耐震性	防災	3.0	0.80	-	-			-
2		免震・制振性能	防災	3.0	0.20	-	-			-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30	-	-			-
1		躯体材料の耐用年数	防災	3.0	0.20	-	-			-
2		外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災	3.0	0.20	-	-			-
3		主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災	3.0	0.10	-	-			-
4		空調換気ダクトの更新必要間隔	防災	3.0	0.10	-	-			-
5		空調・給排水配管の更新必要間隔	防災	5.0	0.20	-	-			-
6		主要設備機器の更新必要間隔	防災	3.0	0.20	-	-			-
2.4 信頼性				2.6	0.20	-	-			-
1		空調・換気設備	防災	3.0	0.20	-	-			-
2		給排水・衛生設備	防災	2.0	0.20	-	-			-
3		電気設備	防災	3.0	0.20	-	-			-
4		機械・配管支持方法	防災	3.0	0.20	-	-			-
5		通信・情報設備	防災	2.0	0.20	-	-			-
3 対応性・更新性				3.2	0.30	3.6	1.00			3.4
3.1 空間のゆとり				4.6	0.08	4.2	0.50			-
1		階高のゆとり		5.0	0.60	5.0	0.60			-
2		空間の形状・自由さ		4.0	0.40	3.0	0.40			-
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.08	3.0	0.50			-
3.3 設備の更新性				3.2	0.85	-	-			-
1		空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-			-
2		給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-			-
3		電気配線の更新性		5.0	0.10	-	-			-
4		通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-			-
5		設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-			-



CASBEE横浜2022年版v.1.1

(仮称)中区相生町1丁目計画

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.1

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-			-
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.31	-	-			2.7
1		生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-			2.0
2		まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-			3.0
3		地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-			3.0
3.1		地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-			-
3.2		敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-			-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-			3.0
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-			3.3
1		建物外皮の熱負荷抑制		3.2	0.20	-	-			3.2
2		自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-			3.0
3		設備システムの高効率化		3.7	0.50	-	-			3.7
4		効率的運用		3.0	0.20	-	-			3.0
		集合住宅以外の評価		3.0	0.25	-	-			-
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-			-
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-			-
		集合住宅の評価		3.0	0.75	-	-			-
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-			-
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-			-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-			2.9
1		水資源保護		3.0	0.20	-	-			3.0
1.1		節水		3.0	0.40	-	-			-
1.2		雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-			-
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-			-
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-			-
2		非再生性資源の使用量削減		2.8	0.60	-	-			2.8
2.1		材料使用量の削減		2.0	0.11	-	-			-
2.2		既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-			-
2.3		躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.22	-	-			-
2.4		躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.22	-	-			-
2.5		持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-			-
2.6		部材の再利用可能性向上への取組み		5.0	0.22	-	-			-
3		汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20	-	-			3.0
3.1		有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-			-
3.2		フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-			-
	1	消火剤		-	-	-	-			-
	2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-			-
	3	冷媒		3.0	0.50	-	-			-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-			2.8
1		地球温暖化への配慮		3.1	0.33	-	-			3.1
2		地域環境への配慮		2.3	0.33	-	-			2.3
2.1		大気汚染防止		3.0	0.25	-	-			-
2.2		温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-			-
2.3		地域インフラへの負荷抑制		2.5	0.25	-	-			-
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-			-
	2	污水处理負荷抑制		3.0	0.25	-	-			-
	3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-			-
	4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-			-
3		周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	-			3.0
3.1		騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-			-
	1	騒音		3.0	1.00	-	-			-
	2	振動		-	-	-	-			-
	3	悪臭		-	-	-	-			-
3.2		風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-			-
	1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-			-
	2	砂塵の抑制		-	-	-	-			-
	3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-			-
3.3		光害の抑制		3.0	0.20	-	-			-
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-			-
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-			-
上記以外の重点項目				-	-	-	-			-
<事務用途>				-	-	-	-			-
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ		-	-	-	-			-
<住宅用途>				-	-	-	-			-
健康と安心				-	-	-	-			-
1		化学汚染物質の対策		3.0	-	-	-			-
2		適切な換気計画		3.0	-	-	-			-
3		結露・カビ対策		3.0	-	-	-			-
4		犯罪に備える(共用部の防犯対策)		1.0	-	-	-			-